

「医薬品に関する教育」についてのアンケート調査結果報告（岐阜県）

日本学術振興会科学研究費補助金 事業

主任研究者：岐阜薬科大学実践薬学大講座病院薬学研究室教授 寺町ひとみ

研究分担者：岐阜薬科大学名誉教授 勝野眞吾

平成 20 年 3 月改訂の新学習指導要領では、医薬品に関する内容が中学校保健体育科保健分野に盛り込まれました。このような状況の中で、平成 24 年度に「医薬品に関する教育」が中学校の保健体育科の授業に導入されました。これまでに、現在の日本の医薬品に関する知識、態度、行動を明らかにするため、全国および岐阜市の児童生徒の「医薬品の正しい使い方」に関する知識・意識調査および指導実施状況調査を行いました。今回、岐阜県の中学校における「医薬品に関する教育」の指導実施状況について調査しました。岐阜県の中学校 112 校からご協力いただきましたことをお礼申し上げます。以下にアンケート調査結果についてご報告いたします。

1. 調査対象校および回収率

	岐阜県 n=112 (%)	岐阜市 n=20 (%)
対象校	184	22
回収数(校)	112	20
回収率(%)	60.9	90.9

岐阜県の全中学校 184 校を対象に調査したところ、回収率は、岐阜県全体では 60.9%であった。岐阜市の回収率は 90.9%と高かった。

2. 調査実施時期

平成 26 年 10 月～平成 26 年 12 月

3. 回答者の担当(複数回答可)

	岐阜県 n=112 (%)	岐阜市 n=20 (%)
管理職	20.5	5.0
学級担任	12.5	20.0
保健体育科教員	47.3	85.0
養護教諭	45.5	25.0
その他	2.7	5.0

アンケートの回答者は岐阜県では保健体育科教員が 47.3%、養護教諭が 45.5%であった。岐阜市では、保健体育科教員が 85.0%と多く、養護教諭は 25.0%であった。

4. 保健体育科「医薬品についての授業」に関する質問

(1) 保健体育科「医薬品についての授業」の担当者（複数回答可）

	岐阜県 n=112 (%)	岐阜市 n=20 (%)
保健体育科教員	94.6	100.0
養護教諭	8.0	20.0
学校薬剤師	10.7	15.0
その他	1.8	0.0
無回答	0.9	0.0

保健体育科の授業で「医薬品についての授業」を担当している教員・講師では、保健体育科教員が岐阜県では 94.6%、岐阜市では 100%と多かった。養護教諭では、岐阜県が 8.0%、岐阜市では 20.0%であった。学校薬剤師では、岐阜県が 10.7%、岐阜市が 15.0%と少なかった。その他では、岐阜県では保健主事が 1.8% (2 人)、学年主任が 0.9% (1 人)であった。保健体育科教員のみでは岐阜県が 81.3%、岐阜市が

75.0%であった。保健体育科教員と学校薬剤師では岐阜県が7.1%、岐阜市が15.0%であった。

(2) 保健体育科「医薬品についての授業」の授業時間

総授業時間	岐阜県 n=112 (%)	岐阜市 n=20 (%)
50分未満	2.7	0.0
50分以上～100分未満	71.4	65.0
100分以上～150分未満	13.4	25.0
150分以上	2.7	0.0
その他	6.3	5.0
無回答	3.6	5.0

授業時間は、岐阜県では平均49.9分(25分から60分)で、授業回数は平均1.2回(0.5回から9回)であった。岐阜市では平均48.0分(50分から60分)で、授業回数は平均1.1回(15回から2回)であった。

岐阜県では、50分が85.7%で、1回が74.1%と最も多かった。同様に、岐阜市では、50分が85.0%で、1回が65.0%であった。その他の回答では、岐阜県では他の授業で触れる程度が2.7%(3/112)、薬物乱用防止等で触れる程度が2.7%(3/112)、計画中が0.9%(1/112)であった。岐阜市では他の授業で触れる程度が5.0%(1/20)、薬物乱用防止の授業中に話題になるが5.0%(1/20)であった。

(3) 保健体育科「医薬品についての授業」の使用教材(複数回答可)

	岐阜県 n=112 (%)	岐阜市 n=20 (%)
教科書	91.1	95.0
日本学校保健会作成・配布の冊子	8.9	10.0
その他パンフレット冊子類	13.4	15.0
ビデオ	10.7	5.0
インターネットからのダウンロード資料	12.5	30.0
その他	10.7	10.0
無回答	2.7	5.0

授業で使用している教材については、教科書が岐阜県91.1%、岐阜市95.0%と多く、パンフレット冊子類がそれぞれ13.4%、15.0%、インターネットからのダウンロード資料が12.5%、30.0%であった。また、その他の回答では、保健体育ノートが岐阜県2.7%(3/112)、岐阜市5.0%(1/20)であった。

5. 保健体育科授業以外の「医薬品についての授業」に関する質問

(1) 保健体育科の授業以外で「医薬品についての授業」を行っているか(今年度中の予定を含む)。

	岐阜県 n=112 (%)	岐阜市 n=20 (%)
はい	21.4	40.0
いいえ	78.6	60.0

保健体育科の授業以外で「医薬品についての授業」を行っていると回答したのは、岐阜県21.4%、岐阜市40.0%であった。

(2) (1)で「はい」と回答した岐阜県24人、岐阜市8人の回答結果

(2)-1 保健体育科以外で行っている「医薬品についての授業」の科目(複数回答可)

	岐阜県 n=24 (%)	岐阜市 n=8 (%)
総合的な学習の時間	16.7	25.0
理科	8.3	0.0
学級(ホームルーム)活動	29.2	37.5
学校行事	33.3	25.0
その他	16.7	12.5

学級(ホームルーム)活動、学校行事、総合的な学習の時間で行われていた。その他の回答では、薬物乱用防止教室が岐阜県16.7%(4/24)、岐阜市12.5%(1/8)であった。

(2)-2 授業時間

岐阜県では、授業時間 50.0 分、1 回～2 回が 20.8%であった。講演会が 70.8%で、その他が 12.5%、無回答が 4.2%であった。岐阜市では、授業時間・回数の回答は無しで、講演会が 87.5%であった。その他が 12.5%であった。その他の回答では薬物乱用防止教室が 1 件であった。

(2)-3 対象学年（複数回答可）

	岐阜県 n=24 (%)	岐阜市 n=8 (%)
1年生	50.0	87.5
2年生	37.5	25.0
3年生	54.2	12.5
無回答	4.2	0.0

対象学年については、岐阜県では 1 年生が 50.0%、3 年生が 54.2%であった。岐阜市では、1 年生が 87.5%と多かった。

(2)-4 使用教材（複数回答可）

	岐阜県 n=24 (%)	岐阜市 n=8 (%)
教科書	16.7	12.5
日本学校保健会作成・配布の冊子	0	0
その他パンフレット冊子類	33.3	37.5
ビデオ	20.8	25.0
インターネットからのダウンロード資料	4.2	12.5
その他	45.8	50.0
無回答	8.3	12.5

パンフレット冊子類では岐阜県が 33.3%、岐阜市が 37.5%であった。また、その他の回答では、学校薬剤師など外部講師が作成した資料では岐阜県が 25.0%、岐阜市が 25.0%であった。教員が作成した資料もあった。岐阜市では、薬物乱用防止教室で触れるが 12.5%（1/8）であった。

(2)-5 担当者（複数回答可）

	岐阜県 n=24 (%)	岐阜市 n=8 (%)
保健体育科教員	16.7	25.0
養護教諭	20.8	12.5
学校薬剤師	66.7	87.5
その他	33.3	12.5

教員あるいは講師としては、学校薬剤師では岐阜県が 66.7%、岐阜市が 87.5%と多かった。また、その他では、岐阜県では理科教員が 8.37%、外部講師が 12.5%、岐阜市では、税関職員が 12.5%（1/8）であった。

(3) (1)で「いいえ」と回答した岐阜県 88 人、岐阜市 12 人の回答結果

	岐阜県 n=88 (%)	岐阜市 n=12 (%)
予定あり	11.4	25.0
検討したい	43.2	33.3
予定なし・実施できない	40.9	41.7
無回答	4.5	0.0

(3)-1 今後（次年度以降）の実施について
保健体育科の授業以外で「医薬品についての授業」を行っていない学校で、次年度以降、予定ありでは、岐阜県が 11.4%、岐阜市で 25.0%と少なかった。一方、検討したいでは、岐阜県が 43.2%、岐阜市が 33.3%であった。予定なし・実施できないが岐阜県が 40.9%、岐阜市が 41.7%であった。

6. 講演会および研修会に関する質問

- (1) 医薬品についての授業は、教員が行うよりも、外部から講師を招いて講演会を開いた方が有効だと思うか。

	岐阜県 n=112 (%)	岐阜市 n=20 (%)
はい	87.5	90.0
いいえ	10.7	10.0
無回答	1.8	0.0

職位別にみると、「はい」の回答で、保健体育科教員では岐阜県が 86.8% (46/53 人)、岐阜市が 88.2% (15/17 人) であった。養護教諭では、岐阜県が 96.1% (49/51 人)、岐阜市が 100% (5/5 人) で、いずれも同様の傾向を示した。

- (2) 学校教員を対象とした、「医薬品の指導方法」に関する研修会があれば、積極的に参加したいと思うか。

	岐阜県 n=112 (%)	岐阜市 n=20 (%)
はい	69.6	65.0
いいえ	27.7	35.0
無回答	2.7	0.0

職位別にみると、「はい」の回答で、保健体育科教員では岐阜県が 69.8% (37/53 人)、岐阜市が 64.7% (11/17 人) であった。養護教諭では、岐阜県が 78.4% (40/51 人)、岐阜市が 80.0% (4/5 人) で、いずれも同様の傾向を示した。

7. まとめ

保健体育科の「医薬品についての授業」は、ほとんどの中学校では 50 分 1 回で保健体育科教員が担当しており、学校薬剤師の協力が少ないことがわかった。また、薬物乱用防止等の授業の中で「医薬品についての授業」を実施している、また、「医薬品についての授業」を実施していないことも明らかとなった。今後、「医薬品に関する教育」の位置づけについての啓蒙および専門家である学校薬剤師等の活用方法について、中学校の管理職および保健体育科教員を対象にした研修会や講演会等を企画していく必要がある。